

# FLINT

— tremolo & reverb

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

## もくじ

---

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
ライブエディット機能	7
トレモロ ブースト/カット	7
リバーブ ブースト/カット	8
TAP ディビジョン	9
エフェクトの接続順	10
プリ - ディレイ	11
MIDI クロックとの同期	12
MIDI エクスプレッションへの反応	13
パワーアップモード	14
入力レベル	14
バイパスモード	15
スピルオーバー・モード	16
EXP/MIDI ジャックの設定	17
外部コントロール	19
エクスプレッションペダル セットアップ	19
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	20
タップ モード	22
MultiSwitch Plus の設定	23
MultiSwitch Plus の使用法	24
MIDI 機能	25
MIDI チャンネルの設定	28
MIDI モードにおけるプリセットの保存	30
MIDI スペシフィケーション	31
MIDI プログラムチェンジ	31
MIDI CCs	32
ファクトリーリセット	33
主な仕様	35
スペシフィケーション	36
Appendix 1:サンプルレセッティング	37
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	39
ジェネラル・オプション	40
MIDI & Jack オプション	41
Appendix 3:ライブエディットコントロール クイックリファレンス	42
品質保証に関して	44

## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール：トレモロ

#### TREMOLO

3つの異なるトレモロモードがあります。

**'61 harm**：高域＆低域周波数交互に入れ替わる催眠的效果のあるハーモニックトレモロです。

**'63 tube**：出力チューブのバイアスポイントをモジュレートして、スムーズなボリュームパルスを生み出すトレモロ効果です。

**'65 photo**：フォトカプラーによるシャープなエッジのボリュームエフェクト（トレモロ効果）です。

#### INTENSITY（インテンシティ）

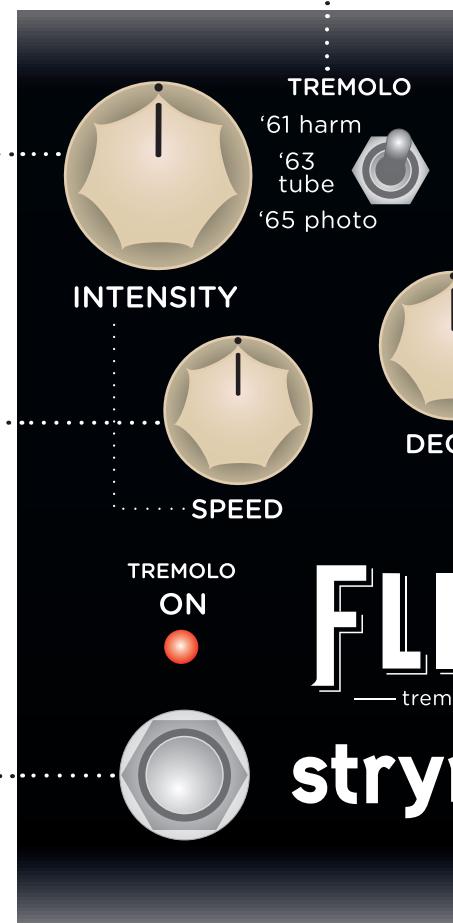
トレモロ効果の深さをコントロールします。トレモロをコントロールするLFOの増幅を変化させて効果を出します。最小設定ではLFOはオフ、トレモロ効果は得られません。この状態でも信号はトレモロ回路（この場合はアルゴリズム）を通過します。

#### SPEED

LFO周波数をスロー～ファーストに変化させます。スローレンジでは、オリジナルのビンテージトレモロのスピードよりも、さらにゆっくりしたトレモロが得られます。

#### TREMOLO ON

トレモロ効果をオン/オフするフットスイッチです。エフェクトがオンになると**レッド**LEDが点灯します。トゥルーバイパスがデフォルト設定です。バイパスモードは[15ページ](#)の方法で変更できます。



## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール：リバーブ

#### REVERB

3つの異なるリバーブモードがあります。

- ‘60s：ビンテージアンプに使用されていたフルサイズのスプリング（2本タイプ）リバーブ
- ‘70s：マルチタップディレイライン（パラレル）でエミュレートされたエレクトロニックプレート
- ‘80s：デジタルマイクロプロセッサータイプのスタジオラックリバーブ



#### MIX

リバーブ（ウェット）とドライ信号のミックスをコントロールします。最小でドライのみ、最大でウェットのみになります。3時の位置が50:50のポジションです。

#### DECAY

リバーブの減衰信号をコントロールします。70sと‘80sのモードでは最大設定で無限長の減衰音が得られます。

#### COLOR

リバーブトーンを変更します。低い設定ではダークに、高い設定ではライトに変化します。接続するアンプに合わせて調整してください。

#### REVERB ON

リバーブエフェクトをオン/オフするフットスイッチです。エフェクトがオンになると**レッド**LEDが点灯します。トゥルーバイパスがデフォルト設定です。バイパスモードは[15ページ](#)の方法で変更できます。

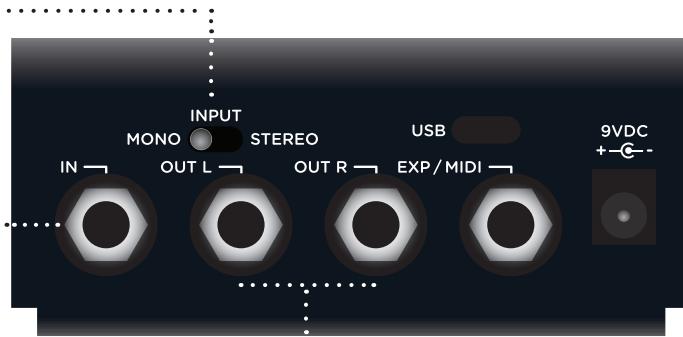
## リアパネル I/O & コントロール

### オーディオ入力セレクター

MONO：ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO：ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



#### IN

モノラル、超低ノイズのディスクリート Class A JFETプリアンプ入力です。  
ステレオ入力にはTRSステレオアダプタ  
ーまたはTRSステレオケーブルを使用し  
ます。

#### OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力で  
す。モノ出力使用時は**OUT L**のみ接続し  
てください。

## リアパネル I/O & コントロール

### USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

### 9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



### EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください）

エクスプレッションペダルモード：[ページ19](#)

フェイバリットモード：[ページ20](#)

Tapモード：[ページ22](#)

MIDIモード：[ページ30](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ23](#)

## ライブエディット機能

以下のステップでライブエディットモードに入り、セカンダリー機能が設定できます。

### トレモロ ブースト / カット

トレモロがオンになると、ボリュームの 3dB ブースト / カットが設定できます。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードに入り、LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② INTENSITY (TREMOLO BOOST/CUT) ノブを回してトレモロ出力レベルのブースト / カットを決めます。両 LED がグリーン (-3dB カット) からアンバー (+3dB ブースト) に変化します。デフォルト設定は 12 時の位置です。

- ③ REVERB ON を押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### リバーブ ブースト / カット

リバーブがオンになった時、3dB ブースト / カットのボリューム設定が可能です。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② 図のようにMIX (REVERB BOOST/CUT) ノブを回してブースト/カット設定を選択します。

- -3dB カット : グリーン (デフォルト設定)
- +3dB ブースト : レッド

- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### TAP ディビジョン

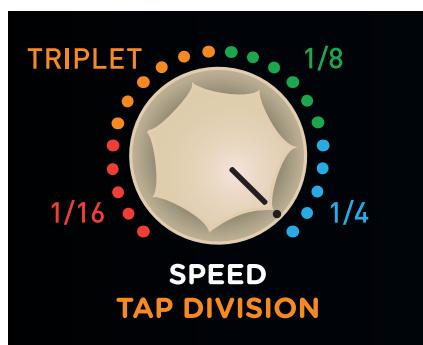
外部タップスイッチを用いた場合のタップテンポ、トレモロ LFO のノート・サブディビジョンを設定します。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② 図のSPEED (TAP DIVISION) ノブを回して使いたいディビジョンを選択します。

- 1/16= レッド
- Triplet= アンバー
- 1/8= グリーン
- 1/4= ブルー (デフォルト設定)



- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### エフェクトの接続順

信号が流れる接続順を Reverb → Tremolo、Tremolo → Reverb のいずれかを選択できます。デフォルト設定は、ビンテージアンプと同じ Reverb → Tremolo です。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② 図のDECAY (EFFECT ORDER) ノブを回して接続順を選択します。  
TREMOLO ON LEDが設定を表示します。

- Reverb → Tremolo : グリーン (デフォルト設定)
- Tremolo → Reverb : レッド



- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### プリ - ディレイ

ドライ信号からリバーブのアーリー・リフレクションが始まるまでの時間（プリ - ディレイ）を調整します。短いプリ - ディレイは小さなスペースを模倣し、長いプリ - ディレイはドライ信号の明瞭度を高めつつ大きなスペースのアンビエントを再現します。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② 図のCOLOR (PRE-DELAY) ノブを回してプリ-ディレイを選択します。  
REVERB ON LEDが設定を表示します。

- 最短プリ - ディレイ : グリーン (デフォルト設定)
- 最長プリ - ディレイ : アンバー

- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### MIDI クロックとの同期

本機の Tremolo Speed と MIDI クロックの同期を決定します。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押しします。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② REVERB (MIDI CLOCK SYNC) スイッチで Flint と MIDI クロックとの同期設定を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。
  - Off : レッド - MIDI クロックと非同期です。(デフォルト設定)
  - On : ブルー - MIDI クロックと同期します。

**NOTE :** MIDIに同期すると、TREMOLO ON LEDがピンクに点灯します。SPEEDノブが入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。  
設定は左から1/4（最小）、1/3、1/2、x1、x2、x3、x4（最大）に設定できます。

- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール ~ 127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② TREMOLO (MIDI EXP) スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチ On : ブルー - MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
- スイッチ Off : レッド - MIDI エクスプレッションに反応しません。

- ③ REVERB ON フットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** MIDI エクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDI プリセット毎に保存できます。

## パワーアップモード

### 入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② INTENSITY (**INPUT LEVEL**) ノブで入力レベルモードを変更します。  
ノブを回すと TREMOLO ON LED がステータスカラーに点灯します。

- インstrument : **グリーン** (デフォルト設定) - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
- ライン : **レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。

- ③ いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
セッティングはプリセット毎に保存できません。

## パワーアップモード

### バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② MIX (BYPASS MODE) ノブでバイパスモードを変更します。  
REVERB ON LED がステータスカラーに点灯します。
  - トゥルーバイパス：グリーン（デフォルト設定）
  - バッファードバイパス：レッド
- ③ いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

## パワーアップモード

### スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバー・モードにセットすると、バイパスまたはプリセットの切り替え時にリバーブ信号（ウェット）がそのまま残ります（出力されます）。

**NOTE :** バッファーの設計上、スピルオーバーが再生される前に、使用中のプリセットが最低でも5秒はアクティブでないと正しく動作しません。バイパスの場合は即座に有効になります。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② DECAY (SPILLOVER MODE) ノブを回し、スピルオーバー・モードオン / オフを決定します。ノブを回すと両 LED が以下のステータスカラーに点灯します。

- スピルオーバー モード - オフ : **アンバー** (デフォルト設定)
- スピルオーバー モード - オン : **パープル**

- ③ いずれかのフットスイッチを押し、スピルオーバー モードを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

## パワーアップモード

### EXP/MIDI ジャックの設定

- ① TREMOLO ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② MIX (EXP/MIDI JACK) で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。  
REVERB ON LED がステータスカラーに点灯します。

- エクスプレッションペダルモード：**グリーン**（デフォルト設定）- TRS エクスプレッションペダル（推奨  $25\text{k}\ \Omega$ ）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [19 ページ](#)をご覧ください。）
- フェイバリットモード：**アンバー** - strymon MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [20 ページ](#)をご覧ください。）
- タップモード：**レッド** - TREMOLO スピードがタップインでセットできます。推奨 フットスイッチ：strymon MiniSwitch（詳しくは [22 ページ](#)をご覧ください。）
- MIDI モード：**ブルー** – strymon MultiSwitch Plus (3 プリセット) でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが  $1/4''$  TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー (300 プリセット) を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [23 ページ](#)、MIDI に関しては [30 ページ](#)をご覧ください。）

## パワーアップモード

### EXP/MIDI ジャックの設定



- ③ いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
設定はプリセット毎には保存されません。

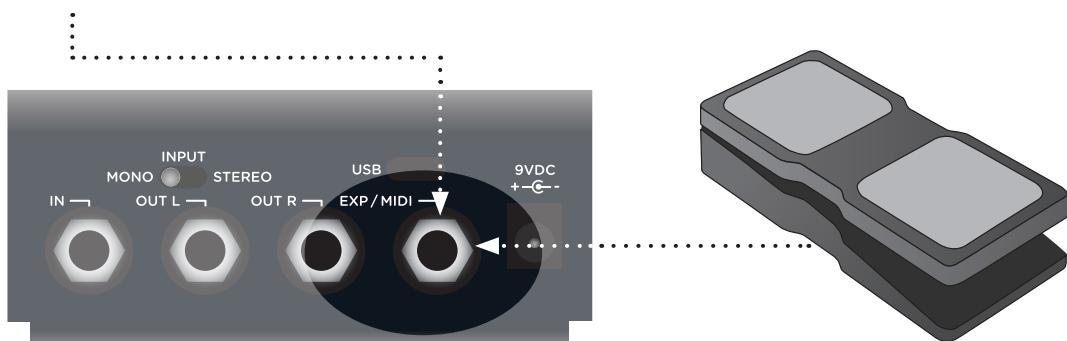
## 外部コントロール

### エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。**  
(詳細は[17ページ](#)をご覧ください。)

- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。**



- 3** 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4** エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。  
**TREMOLO ON LED**のみが**グリーン**に点滅します。
- 5** ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。  
**TREMOLO ON LED**が**レッド**に点灯します。
- 6** エクスプレッションペダルをトウ側にロックします。  
**REVERB ON LED**のみが**グリーン**に点滅します。
- 7** ペダルのトウポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。  
**ON LED**のみが**レッド**に点灯します。
- 8** いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

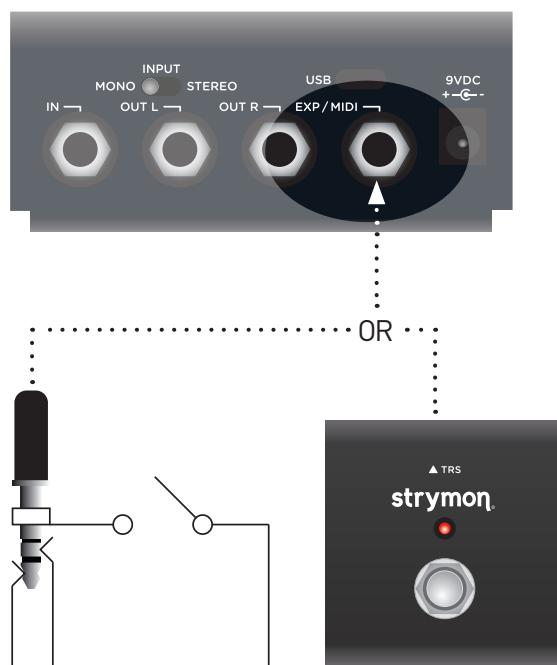
**NOTE :** エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

**NOTE :** FLINTが**MIDI EXPRESSION**に設定され、**EXP/MIDIジャック**が**MIDIモード**に設定される、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 の 0 (ヒール) ~ 127 (トウ) データでエクスプレッションペダルのように動作します。

## 外部コントロール

### フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- ① EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。  
(詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- ③ コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- ④ フェイバリット設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで**TREMOLO ON**フットスイッチを長押しします。その後、再度LEDが**ブルー**に点滅するまで、**TREMOLO ON**フットスイッチを長押しします。TREMOLO ONフットスイッチを再度押して保存は完了します。

これで外部フットスイッチを押し、フェイバリットセッティングとコントロール面のセッティングが切り替えられます。

## 外部コントロール

### コンペアモード

フェイバリットとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

**NOTE :** 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

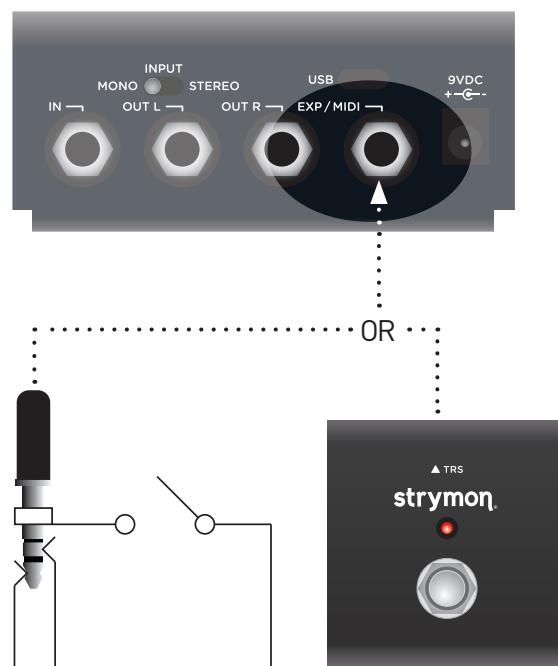
**NOTE :** MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。  
(詳しくは[25ページ](#)をご覧ください。)

**NOTE :** FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

## 外部コントロール

### タップ モード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と接続します。



- ① EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。  
(詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをEXP/MIDIにTRSケーブルで接続します。
- ③ 1/4音符のテンポでタップ入力すると、トレモロスピードがセットされます。

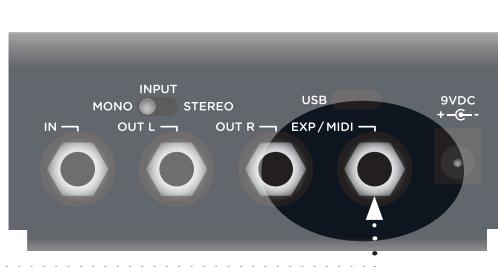
**NOTE :** デフォルト設定では、外部タップからの入力は4分音符のタップディビジョンです。この設定はライブエディット機能で変更できます。詳しくは[9ページ](#)をご覧ください。

## 外部コントロール

### MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① TREMOLO ON フットスイッチを押したまま電源を投入します。  
両 LEDの点滅が止まつたらフットスイッチを離します。
- ② INTENSITYノブを最小に回し（左に回し）、MIDIチャンネルを **1** に設定します。  
TREMOLO ON LEDは**グリーン**に点灯します。
- ③ DECAY ノブを回し、次のMIDI OUTオプションを選択します。  
両ON LEDが以下のように点灯します。:
  - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
  - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
  - MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**
  - 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ MIX ノブを右へ回しきり、EXP/MIDIジャックをMIDIモードにします。  
REVERB ON LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、**MIDI出力セッティング**を保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機のEXP/MIDIジャックにTRSケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plusの A フットスイッチを長押ししながら、TRSケーブルをMultiSwitch Plusに接続し、プリセットモードを選びます。



## 外部コントロール

### MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch Plusで本機のプリセットをセーブ&セレクトします。



**NOTE :** MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC（プログラム チェンジ）1、2、3に相当します。

- ① 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- ② 点灯しているスイッチを押して本機をバイパスします。

### 本機のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- ① セーブしたいサウンドを設定します。
- ② 両LEDがグリーンに点滅するまで、本機の両フットスイッチを長押しします。
- ③ MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

## MIDI 機能

### MIDI 使用の準備

本機のEXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォーン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

**NOTE :** Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。  
(詳しくは[29ページ](#)をご覧ください。)

[strymon.net/support/flint-v2](http://strymon.net/support/flint-v2)で適応機種を掲載しています。



MIDI EXP cable



TRS cable

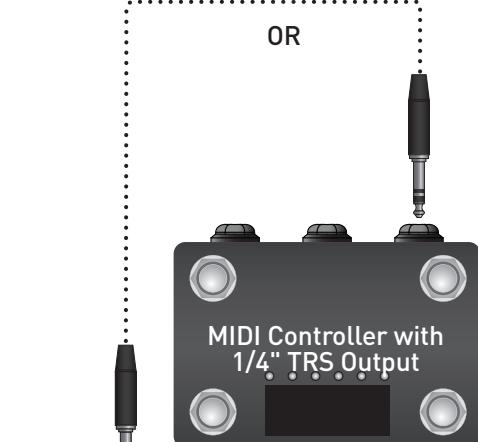


OR

OR



MIDI Controller with  
5-pin MIDI Outputs



1/4" TRS  
MIDI Interface  
(such as Strymon Conduit)

## MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- ① TREMOLO ON フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。  
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- ② REVERB ON LEDがブルーに点灯するまで、MIXノブを時計回りに回します。

## MIDI機能 - MIDI使用法

### ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ③ INTENSITYノブを回しMIDIチャンネルをセットします。  
TREMOLO ON LEDがステータスを表示します。：

- Channel1 : グリーン(デフォルト設定)
- Channel 2 : アンバー
- Channel 3 : レッド
- Channel 4-16 : ブルー (要1/4" MIDI接続)

TREMOLO ON LEDが一度ブルーに点灯し、MIDIプログラムチェンジ(PC)メッセージを受信するまで点滅が続けます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

## MIDI機能 - MIDI使用法

### ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ④ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

**NOTE :** MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、ONフットスイッチがバイパスの時に、CC#10で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、TREMOLO ON LEDが点灯します。

**NOTE :** Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードをオフにしてください。（詳しくは、[29ページ](#)のMIDI OUTモードのセクションをご覧ください。）

**NOTE :** MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

## MIDI機能 - MIDI使用法

### ステップ3 - MIDI OUTモードの設定

① TREMOLO ON フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



② DECAYノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。

両LEDが点滅してステータスを表示します。

- OFF : レッド - MIDIメッセージは出力されません。 (デフォルト設定)
- THRU : ブルー - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- センドCC、PC、OTHER : ホワイト - 本機が出力するMIDI CC、PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドCC、OTHER : グリーン - MIDI CC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドPC、OTHER : パープル - MIDI PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドOTHER : アンバー - MIDI Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

③ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

## MIDI 機能

### MIDI モードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、**TREMOLO ON** フットスイッチを長押しします。  
**TREMOLO ON LED**が**ブルー**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセット・ロケーションにロードするには、  
**TREMOLO ON** フットスイッチをLEDが**ブルー**に点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

**NOTE : REVERB ON** フットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

## MIDI スペシフィケーション

### MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

**MIDI BANK 0 =** プリセット 0-127

**MIDI BANK 1 =** プリセット 128-255

**MIDI BANK 2 =** プリセット 256-299

**0** FAVセッティング（詳しくは[22ページ](#)をご覧ください。）

**1** MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

**2** MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

**3** MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

**127** マニュアルモード

**NOTE :** 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは最初の127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

## MIDI スペシフィケーション

### MIDI CCs

FLINT - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3)
10	Tremolo Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
11	Tremolo Type	1-3	(1='61, 2='63 tube, 3='65 photo)
12	Intensity	0-127	
13	Speed	0-127	
14	Tap Subdivision	0-127	
15	Tremolo Boost/Cut	0-127	
16	Reverb Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
17	Reverb Type	1-3	(1='60s, 2='70s, 3='80s)
18	Mix	0-127	
19	Color	0-127	
20	Decay	0-127	
21	Reverb Pre-Delay	0-127	
22	Reverb Boost/Cut	0-127	
23	Effect Order	0, 127	(0=Reverb > Tremolo, 1-127=Tremolo > Reverb)
27	Footswitch A	0, 127	(0=release, 1-127=press)
28	Footswitch B	0, 127	(0=release, 1-127=press)
33	Bypass/On A and B	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
93	Remote Tap	Any	
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)

**NOTE :** 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

**NOTE :** 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

## ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

- ① REVERB ON フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらスイッチを離します。



- ② SPEED ノブを0から100%まで2度回します。

TREMOLO ON LEDが色を変え、レッドの点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDがレッド。この後リセットが始まります。

## ファクトリーリセット

### FACTORY DEFAULT SETTINGS

**EXP/MIDI Jack:** Assigned to Expression mode and configured to control the **SPEED** knob

**Input Level:** Instrument

**Bypass Mode:** True Bypass

**MIDI Channel:** 1

**MIDI Output Mode:** Off

**MIDI Clock Sync:** Off

**MIDI Expression:** On

**Live Edit, Secondary Functions:** **TREMOLO BOOST/CUT** = 12 o'clock, no Boost/Cut

**REVERB BOOST/CUT** = 12 o'clock, no Boost/Cut

**TAP DIVISION** = 100%, 1/4 note

**EFFECT ORDER** = 0%, Reverb > Tremolo

**PRE-DELAY** = 0%, minimum PreDelay time



Default Live Edit Setting

## 主な仕様

- クラシックシステムにインスピアされたトレモロ&リバーブアルゴリズムを使用
- 3つのトレモロタイプ：'61 harmonic、'63 tube bias、'65 photoresistor
- 3つのリバーブタイプ：'60 spring、'70s electronic plate、'80s rack
- 5ライブエディット機能（セカンダリーパラメーター）：Tremolo Boost/Cut、Reverb Boost/Cut、Tap Division、Effect Order、Reverb Pre-Delay
- Tremolo、Reverb独立のフットスイッチング
- トゥルーバイパス（リレースイッチング）
- 高性能ウルトラローノイズA/D & D/Aコンバーター
- インストルメント＆ラインの両信号に対応可能な最大+10dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-Cジャック搭載。
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサー
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンステレオ出力
- トゥルーバイパス
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

## スペシフィケーション

---

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	115 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

### 電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。

9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

## Appendix 1 : サンプルセッティング

## サンプルセッティング

DREAMY WARM TREM



MIDI Program Change 0  
MiniSwitch Favorite

SHORT POPPY TREM



MIDI Program Change 1  
MultiSwitch Plus A

OCEAN WAVES



MIDI Program Change 2  
MultiSwitch Plus B

VAPORIZER



MIDI Program Change 3  
MultiSwitch Plus C

SLIDE ON OUT



MIDI Program Change 4

## ライブエディット機能

本機にはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらを **ライブエディット機能** と呼び、[7ページ](#)で詳しく説明しています。

このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

## Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

## パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

### ジェネラル・オプション

① REVERB ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。

③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

#### 入力レベル

図を用いた説明は [14 ページ](#) をご覧ください

INTENSITY ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。ステータスは TREMOLO ON LED に表示されます。

- インstrument : グリーン (デフォルト設定)
- ライン : レッド

#### バイパスモード

図を用いた説明は [15 ページ](#) をご覧ください

MIX ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

REVERB ON LED に表示されます。

- トゥルーバイパス : グリーン (デフォルト設定)
- バッファードバイパス : レッド

#### スピルオーバーモード

図を用いた説明は [16 ページ](#) をご覧ください

DECAY ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。  
両 LED に表示されます。

- オフ : アンバー (デフォルト設定)
- オン : パープル

#### ファクトリーリセット

図を用いた説明は [33 ページ](#) をご覧ください

SPEED ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。  
ステータスは TREMOLO ON LED に表示されます。

## パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできます。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

### MIDI & Jack オプション

① TREMOLO ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。

③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

**EXP/MIDI ジャック モード** MIX を回すと REVERB ON LED がチャンネルステータスを表示します。

図を用いた説明は [17 ページ](#)をご覧ください

- エクスプレッション：グリーン（デフォルト設定）
- フェイバリット：アンバー
- Tap モード：レッド
- MIDI：ブルー

**MIDI チャンネル**

図を用いた説明は [27 ページ](#)をご覧ください

INTENSITY ノブを回すと TREMOLO ON LED がチャンネルステータスを表示します。

- 1：グリーン（デフォルト設定）
- 2：アンバー
- 3：レッド
- 4-16：ブルー（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）

**MIDI アウトモード**

図を用いた説明は [29 ページ](#)をご覧ください

DECAY ノブを回すと両 LED がチャンネルステータスを表示します。

- OFF：レッド（デフォルト設定）
- THROUGH：ブルー
- ON CC、PC、OTHER：ホワイト
- ON CC、OTHER：グリーン
- ON PC、OTHER：パープル
- ON OTHER：アンバー

## Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

## ライブエディットコントロール - クイッククリファレンス

---

本機には、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。  
これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[7ページ](#)をご覧ください。

- ① 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**REVERB ON**フットスイッチを長押しします。
- ② フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- ③ **REVERB ON**フットスイッチを押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

**TREMOLO BOOST/CUT**

図を用いた説明は[7ページ](#)をご覧ください

**INTENSITY** ノブを回すと両 LED が**グリーン** (-3dB - ユニティゲイン) ~ **アンバー** (ユニティゲイン - +3dB) でステータスを表示します。デフォルト設定はブースト／カットなしの設定です。

**REVERB BOOST/CUT**

図を用いた説明は[8ページ](#)をご覧ください

**MIX** ノブを回すと、両 LED が**グリーン** (-3dB - ユニティゲイン) ~ **アンバー** (ユニティゲイン - +3dB) でステータスを表示します。デフォルト設定はブースト／カットなしの設定です。

**TAP ディビジョン**

図を用いた説明は[9ページ](#)をご覧ください

**SPEED** ノブを回すと両 LED がステータスを表示します。

- 1/16 = **レッド**
- Triplet = **アンバー**
- 1/8 = **グリーン**
- 1/4 = **ブルー** (デフォルト設定)

**EFFECT ORDER**

図を用いた説明は[10ページ](#)をご覧ください

**DECAY** ノブを回すと **TREMOLO ON** LED がステータスを表示します。

- Reverb → Tremolo = **グリーン** (デフォルト設定)
- Tremolo → Reverb = **レッド**

**PRE-DELAY**

図を用いた説明は[11ページ](#)をご覧ください

**COLOR** ノブを回すと **REVERB ON** LED がステータスを表示します。

- 最短 = **グリーン**
- 最長 = **アンバー**

**MIDI クロック同期**

図を用いた説明は[9ページ](#)をご覧ください

**RAMP** スイッチを **fast** (ダウン) または **slow** (アップ) にすると、両 LED が一時的に点灯します。

- **fast** ポジション : OFF、**レッド** (デフォルト設定)
- **slow** ポジション : ON、**ブルー**

**MIDI エクスプレッション**

図を用いた説明は[13ページ](#)をご覧ください

**MIC** スイッチを **front** または **rear** に設定すると、両 LED が**ブルー** (オン、デフォルト設定) ~ **レッド** (オフ) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。

## 品質保証について

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

**ノート：**全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

### ▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

### ▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

## 品質保証について

### ■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。  
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

### ■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。  
記載外の使用方法で本機を使用されますと故障する場合が考えられます。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。  
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

株式会社HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。  
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。